

4. 「13の夏」

兵庫県 RST トレーナー会

幹事 大西昭吉

きっかけは、ゴルフ企画会社からの一通のメール「憧れのペブルビーチでゴルフしませんか？」で始まりました。

今年は42年間の会社員生活を無事に終え、趣味で40年続けているゴルフを楽しみながら人生の再スタートを考える時間とと思っていましたので、早速申し込みました。

勿論家内の事前の承諾を得て・・・「費用は自分で稼ぐこと」の厳しい条件つきですが！小麦粉アレルギー「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」体質で、食事と英語力に大きな不安を抱えているため今までは海外旅行は敬遠していましたが、ペブルビーチでゴルフをする魅力は何事にも代え難いことでした。

7月25日から31日までアメリカ・カルフォルニアへ

1. ゴルフ場

4日間プレーしましたので順番に紹介します。

基本的には、2人乗りカートでのセルフのスループレイで、コースの中を軽食や飲み物を販売する車が回っていました。

夏でも気温が20度前後と乾燥しているため汗が出ないので、クラブハウスで風呂に入る習慣は無いとのことでした。(プレー後、納得！)

① パサディナ カントリークラブ

ジャック・ニクラウス設計のモンレー半島から少し内陸に入った丘陵にある難易度の高いプライベートコースです。

コースの周りには邸宅が立ち並び、庭からそのままプレーが出来ます。



高級感あふれるクラブハウス



練習場は広大で、ボールは打ち放題！

驚いたのは、コースレイアウト図はありますが各ホールにはホールナンバーがなく、距離表示のプレートが有るのみ。二人乗りのカートでキャディーが居ないため次にどちらに行くのか迷う事が数度、今まで前でプレーしていた組と別の親子連れが現れたこと等、どうも空いているホールを選んで回っている感じ？

スコアカードもカートに1枚しか付いていなく、スコアは余り気にせずにプレーを楽しんでいる感じでした。

② デルモンテ ゴルフコース

オープンから100年以上が経過した、アメリカで最も古いコースです。

やはり、各ホールの上に住宅が点在し、庭先に手書でロストボールのセールの看板が出ていました。

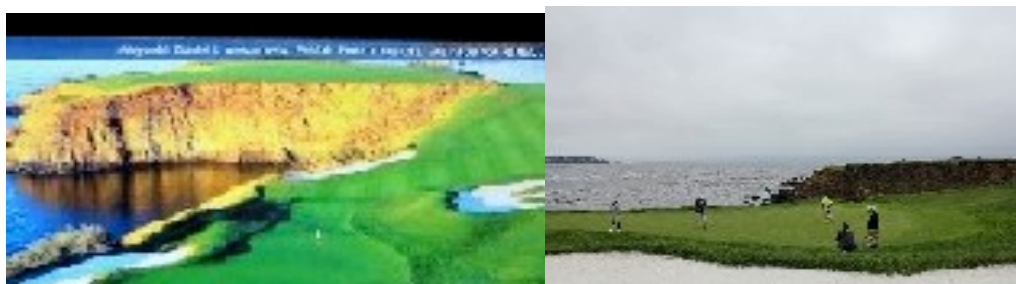
フェアウエーの芝付は良いのですが、地面が硬くアイアンが跳ね返される感じで距離感が合わない、又グリーンが小さくすぐにバンカーにつかまり難しい感じです。

③ ザ・リンクス・アット・スパニッシュベイ

トム・ワトソンがデザインしたコースで、海からの強風が常に吹いていて強いボールを打つ必要がありむつかしい。フェアウエーとグリーン以外は深いブッシュや池やバンカー、又自然保護のため立入禁止エリアが有り、ボールが多数必要！

④ ペブルビーチ・ゴルフリンクス

J・ニクラウスが、そのあまりの素晴らしさに「人生最後にラウンドするならここで！



人生最後のショットは8番海越えのセカンドショット」

8番のグリーンで

2. 食事

心配していたアレルギー対応は現地スタッフが適切で問題は有りませんでした。夕食は、オプションツアーに申し込み「中華・ステーキ・日本料理・シーフード・イタリアン」の各レストランに案内してくれました。

送迎やオーダー手配含めて80ドル、ビールやワインを含めると100ドル、中堅クラスのレストランでしたが、どの店も仲の良いグループや家族連れで満席、遅くまで会話と食事を楽しんでいました。

3. 飛行機

ロスアンゼルスまで、往き9.5h帰り10.5h、エコノミークラスはやはりしんどい体験でした。時差は16時間、帰国して1週間は時差ボケと疲れでグッタリでした！今年6月から、ユナイテッド航空の機内預けの手荷物が2個目から9,000円必要で往復18,000円痛い出費でした。JTBの事前のアナウンスが十分でなくブーイング！

4. 最後に

僅か1週間でしたがアメリカ人の人懐っこい人情味のある性格が感じられる旅でしたが、チップの文化は違和感が有り馴染めませんでした。

人生の区切りで思い切った体験を糧として、これからはRSTトレーナー会や安全コンサルタントとして安全活動を主として取り組んでみたいと思っています。

他にも色々お伝えしたいことが沢山ありますが、機会が有りましたらその折に！

ご安全に！